

水戸藩開藩四百年記念「桜田門外ノ変」映画化支援の会 歴史講座シリーズ(全6回)

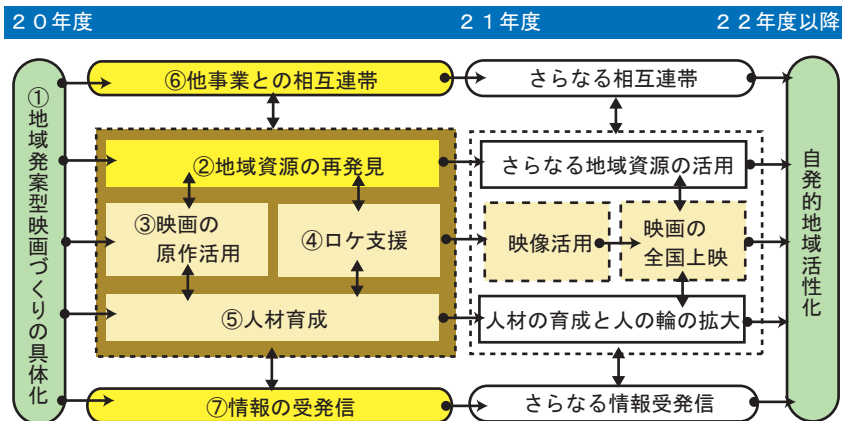
徳川御三家の一つである水戸藩の成立は、東照公家康の十一男の頼房公が常陸水戸二十五万石に封じられることによります。来年、平成21年(2009年)は、その慶長14年(1609年)12月12日から数えて、四百年目にあたります。

郷土史の専門家により、「水戸藩の始まりと徳川光圀」及び「幕末の水戸藩」の二つのサブテーマに分けて学びます。光圀公の時代から綿々と続けられてきた水戸藩による『大日本史』の編纂事業が、水戸学、尊皇攘夷論を生み、ひいては「桜田門外ノ変」倒幕・明治維新へと歴史の扉を大きく押し広げていきます。

そのような目まぐるしい時代に、魁となって輝いた水戸藩の変遷を、水戸の三名君と称される光圀、斉昭、慶喜の系譜をたどりながら見ていきます。

『桜田門外ノ変』映画化支援の会の活動概要

江戸の末期、水戸藩による幕政改革をめざした学問・教育思想は、押し寄せる列強の脅威に対して、諸藩を「尊王攘夷」の旗印の下に糾合させるバックボーンとなりました。さらに、幕権回復のために断行された安政の大獄に起因する水戸藩浪士らによる「桜田門外ノ変」は、幕末日本に大きな転機をもたらし、雄藩や尊攘志士らの列強との交戦、続く明治維新への先駆となりました。私たちは、水戸藩が最も熱く燃えた日々を郷土の美しい風景とともに映し出す『桜田門外ノ変』の映画化をめざします。どうぞ皆さん、この映画づくりと、それを起爆剤とした多彩なまちづくり活動(講演会や史跡めぐり、交流事業ほか)に、是非ご参加下さい。茨城はもとより日本全国に向けて、混迷する現代を見すえ新たな時代を切り拓く「氣運」を醸成していきましょう。



参加申込書 (希望される講演会の口にチェック (✓) を入れて下さい)

シリーズ その1 水戸藩の始まりと徳川光圀	シリーズ その2 幕末の水戸藩
<input type="checkbox"/> 第1回 水戸藩の成立	<input type="checkbox"/> 第1回 「桜田門外ノ変」とその背景
<input type="checkbox"/> 第2回 若き日の水戸黄門	<input type="checkbox"/> 第2回 徳川斉昭公の人と生涯
<input type="checkbox"/> 第3回 水戸黄門の虚像と実像	<input type="checkbox"/> 第3回 徳川慶喜公と幕末の水戸藩

氏名

所属

電話

Fax

お申し込み Tel&Fax 029-303-0310